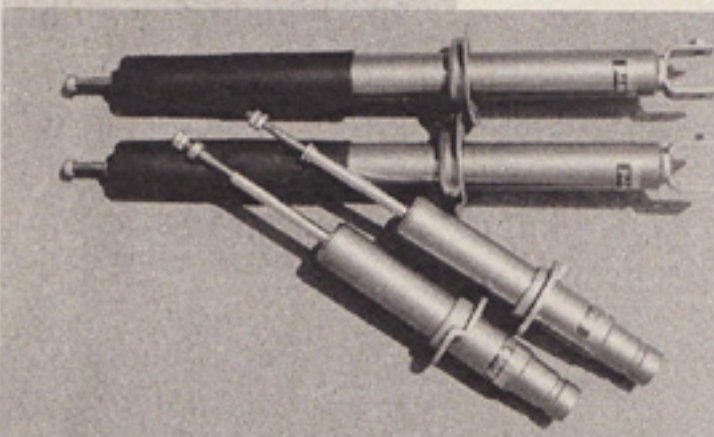
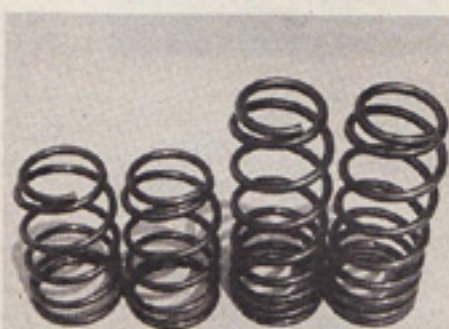


車高ダウン& 減衰力アップで NSXの足ワザ向上

ホンダNSX用オリジナルパーツ2点。スナップ式車高調整を採用のスポーツダンパーは、ビルシユタイン製大容量タイプ。ノーマルの約30%の減衰力アップが可能となる。そして、バネレートがノーマルの15%アップとなるヨーロピアンサスペンションは、スプリングの遊びなしで車高を20〜30mmダウンさせられるゾ。

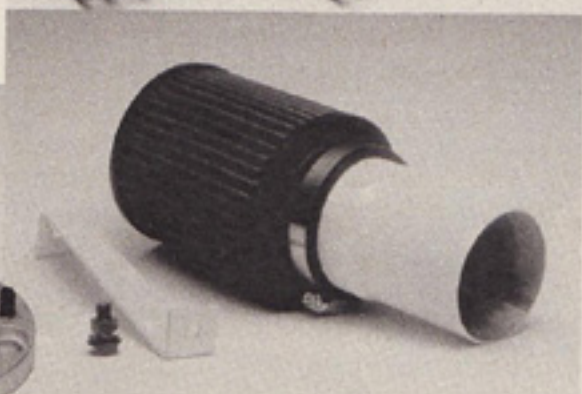
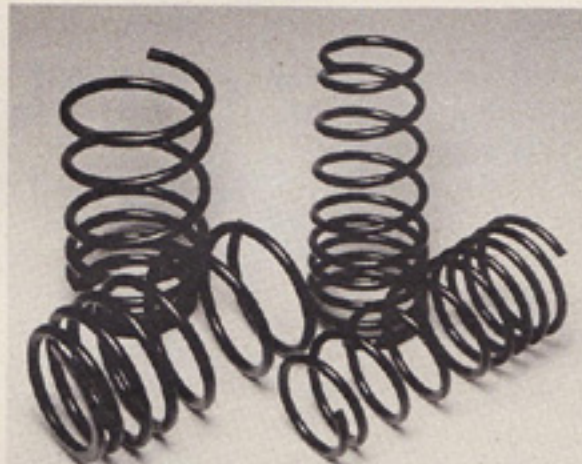
NSX用 スポーツダンパー 28万円
ヨーロピアンサスペンション 7万8000円
●問い合わせ Back Yard SPECIAL 〒485愛知県名古屋市長東区南3-808 ☎052-704-1707



足から吸気までセリカを チューニング

ST202/205セリカ用パーツがウェイクライドから新登場だ。30mmの車高ダウンが可能。ローダウンサス、片側25mmのワイド化ができるワイドトレッドキット、スピードリミッターキャンセラー、そしてK&N社製フィルターを使用し、パワーアップが可能なエアフィルター4アイテムをラインアップ。

Z-GLIDE ST202/205(GT-Four)セリカ用パーツ ローダウンサスペンション ST202ノーマルストラット専用 4万2000円 ワイドトレッドキット 2万3000円(2枚セット) スピードリミッターキャンセラー ST202.3SG用 1万2800円 エアクリナー ST202.3SG用 1万9800円 ●問い合わせ ウェイクライド 〒148東京都大田区多摩川2-20-23 ☎03-3750-1941



TEST & CHALLENGE

トライアル
スーパーシューズ
サイズ25~27.5cm
価格1万6000円

レーシングシューズと
バスケットシューズの
イイところをいただき/
タウン、サーキット、峠、
どこでも使えるマルチシューズだ!



カカとの部分はこの通り。日本では少ないけど、海外ではこんなライニング&タウンシューズがかなり人気があるらしいゾ(ちなみにオレの知っているのはどれもオヤジ臭いデザインばかりだ)。これ、ガルハルトベルガー1777年に入っている、ミハール・オレの心をくすぐる。

アディダスの3本線が入ったシンプルデザイン。バックスキンだから磨耗も少ないゾ。

レーシングシューズは、運転しやすいけど歩きづらい。バスケットシューズは歩きやすいけどちょっとと運動しづらい。
「バスケットシューズとレーシングシューズのベストコだけ合体したスーパーシューズはでかへんかなあ」と思ったトライアルのマツキ・牧原が開発したのがこのシューズ。しかし、マツキ・牧原はチューニングカーを作るのは得意だけど、クツ屋さんではない。で、世界の一流ブランドアディダスとの共同開発をした、というわけだ。

レーシングスーツに合わせてレッドをセレクトしてみました(モノクロだけど)。この場合はスタイルよりも機能性だけど、これも問題ナシ/今では超お気に入りサ!

赤マル NEWGOODS



タウンウエアと合わせるとこんな感じ。ほらモラルを脱けカッコーイダろ?



そして完成したスーパーシューズ、見たところはなじみのアディダスのスニーカーだけど、随所にテストドライバーでもあるマツキ・牧原のアイデアが隠されている。
例えばクルマに乗ると、もの凄く痛んでしまうかかと部分は、ソールをグッと持ち上げて保護されているし、素材も通気性や柔らかさを重視したバックスキンが選ばれているのである。
まず、ストリートで履いてみたが、普通のスニーカーと比べると変わらない快適さ。それどころかスニーカーコレクター(これが実際にいるんだよね)のT氏に話せると、「もしかしてこのファーストモデルは将来貴重になるかもよ」というくらいのおしゃれさなのだ。続いてサーキットでもチェックしてみたのだが、これが実に快適。フォーミュラではちよつと底の幅が広いかもしれないけど、ハコ車なら全然問題ナシ。実を言うと、念のため(念のためとはどういうことや!! ヨッチイはどうもオレのことを信用してないような付き合い方考えさせてもらおうワ……マツキ・牧原注)に普通のレーシングシューズも持って行ってたのだが、もちろん出番はナシ。行きも帰りもずつとスーパーシューズのままであったのである。
こんなにお得なスーパーシューズは、もうすぐ他のカラー(現在はレッド&ブルーのみ)と女性用サイズも発売予定となっているので、サーキットやストリートで、彼女とベアなんてものいいかも? 街中でも歩きやすく、オシャレでも、しかも激しいドライビングにもびくともしないスーパーシューズ、こりやもう走り屋の必需品かもよ?

(ヨッチイ吉村)